

令和8年度（学び続ける教師を応援する）しまだい学校教員研修 ※ハイフレックス型

研修名	漢字学習の評価と支援について考える							
資質向上に関する指標（文科省）	学習指導 ICTや情報・教育データの利活用	プログラム指標 (しまだい)	授業デザイン					
キャリアステージ	自立・向上期（1～10年目）	○	研修レベル	基礎（学部1・2年レベル）				
	探究・発展期（10～20年目）	○		応用（学部3・4年レベル）	○			
	充実・円熟期（20年目以降）	○		発展（大学院レベル）				
開設日	令和8年8月20日（木）		時間数	6時間	受講定員 30名			
会場（対面）	山陰教員研修センター (島根大学教育学部附属義務教育学校前期課程に併設)		所在地	島根県松江市大輪町416-4				
授業形態	講義、ワークショップ		対象校種 (◎推奨)	幼	小	中	高	特
					◎	◎	◎	○
実施方法	対面（集合型）または YouTube Live 視聴（オンライン非同期型）のいずれかを選択)		対象教科	国語（対象教科外の方でも受講可能ですが、専門的な内容も含まれます。）				
			対象職種	広く学校教育関係者				
担当講師	とみやす しんご 富安 慎吾（島根大学教育学部 准教授）							
研修内容	この研修は、小学校や中学校、高等学校等において「漢字学習」をどのように評価し、支援するかを考えるための研修です。漢字に関する基礎知識を確認しながら、目的に沿った学習方法について検討したり、付きたい力に応じた評価方法を考えたりする構成になっています。取り扱う漢字は小学校で学習する漢字が中心になりますが、学習方法や評価方法はその他の校種でも応用可能です。							
日程 ※個人ワークの進み具合によって、予定時間が変更となる場合があります。	時間	内容 ※研修中は適宜休憩をとります。						
	8:40～9:00	受付 ※YouTube Live 視聴開始						
	9:00～9:10	オリエンテーション						
	9:10～10:30	漢字に関する基礎知識の確認						
	10:30～12:00	漢字の「難しさ」を分析する						
	13:00～14:30	漢字を学習する方法の獲得をどう支援するか						
	14:30～16:00	付きたい力に応じた評価方法を考える						
16:00～16:15	「実施後アンケート」記入・事務連絡 ※「研修の課題・振り返り」の記入は研修時間内で随時							
研修に関して各自準備するもの	<p>(対面で受講する場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集要項に記載の携行品等をご持参ください。 PCもしくはタブレット（インターネットに接続できて、まとまった文字が入力できるもの） iPadを使用する場合は「miro」という無料のホワイトボードアプリをインストールしておいてください。 <p>(YouTube Live 視聴)</p> <ul style="list-style-type: none"> YouTube Live が視聴できるようパソコン、ネット環境の準備をお願いします。 対面で受講する場合と類似した活動を「miro」を用いて行うこととなります。iPadを使用する場合は、無料のホワイトボードアプリをインストールしておいてください。 							

	<ul style="list-style-type: none"> • YouTube Live の URL、研修中の質問フォームの URL、研修課題入力用の書式、課題提出用フォームの URL、実施後アンケートの回答フォームの URL 及び講義資料は教師教育研究センターホームページより入手してください。その際のホームページの URL 及びパスワードは受講決定後お知らせします。
事前課題	特にありません
その他	<ul style="list-style-type: none"> • YouTube Live 視聴で受講された方は、研修課題は課題提出用フォームにアップロードし、実施後アンケートは回答フォームに入力し、送信してください。 • YouTube で配信された動画は、配信日を含めて 3 日間、視聴することができます。 • 対面で受講される方の駐車場は、附属義務教育学校前期課程校庭です。南側入口からお入りください。 • 講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 tomiyasu@edu.shimane-u.ac.jp まで、ご連絡ください。